

■ 4-そう思う □ 3-どちらかといえば、そう思う □ 2-どちらかといえば、そう思わない □ 1-そう思わない

学校教育目標

1 教育方針・目標の理解	2 意欲的な学校生活	3 教師の連携協力
学校は、教育方針や教育目標などを、子どもや保護者、地域にわかりやすく示していると思いますか。	子どもは、楽しい学校生活が送れていると思いますか。	学校では、先生方が連携協力して教育活動に取り組んでいると思いますか。
0% 20% 40% 60% 80% 100%	0% 20% 40% 60% 80% 100%	0% 20% 40% 60% 80% 100%
保護者 児童 教職員	保護者 児童 教職員	保護者 教職員

【学校から】  
 ○教育方針・目標の理解は、定期的な「学校便り」の発行や行事等の際に繰り返しお知らせした結果、保護者からは昨年以上の理解が得られた。児童・教職員の評価も大幅に向上した。児童の理解については、今後も担任を通して、学級目標にも反映させていきたい。意欲的な学校生活については、昨年度とほぼ同じ評価だったが、本年度も2人の児童が1の段階だったので、教育相談等を今後も継続していきたい。教師の連携協力はよくできているので、これからも推進していきたい。

4 授業づくりの工夫	5 意欲的な学習態度	6 総合的な学習の時間の充実
先生方は、わかる授業、楽しい授業づくりに努めていると思いますか。	子どもは、意欲的に授業に取り組んでいると思いますか。	子どもは、総合的な学習の時間に意欲的に取り組んでいると思いますか。
0% 20% 40% 60% 80% 100%	0% 20% 40% 60% 80% 100%	0% 20% 40% 60% 80% 100%
保護者 児童 教職員	保護者 児童 教職員	保護者 児童 教職員

【学校から】  
 ○授業づくりに関しては、昨年度同様の評価が得られ、担任の普段の取組が評価される結果となっている。それに対して、意欲的な学習態度は評価がやや低く、課題が残る。今後も校内研修を中心に児童がより一層意欲的に学習するような授業改善と教育環境の整備に取り組んでいきたい。

【学校から】  
 ○児童の評価は、毎年少しずつ下がっている。来年度からの新学習指導要領の完全実施に向けて、魅力ある年間指導計画の作成を進めているところである。

道徳教育 心の教育

7 道徳、心の教育の充実	8 あいさつ、礼儀の励行
学校は、思いやりの心や感謝の心などを大切にしている心の教育の充実に努めていると思いますか。	子どもは、あいさつがきちんとできていると思いますか。
0% 20% 40% 60% 80% 100%	0% 20% 40% 60% 80% 100%
保護者 児童 教職員	保護者 児童 教職員

【学校から】  
 ○道徳・心の教育の充実については、児童・教職員の4の評価が、昨年度より向上し保護者の評価とほぼ一致した。これからも道徳の時間や「たかほしみそあじ」運動を中心に日常生活の中で、粘り強く指導していきたい。  
 ○あいさつについては、立ち止まってあいさつをする児童も増え、児童の4の段階の評価も大幅に増えた。ただ、登下校中や地域の中では、まだ個人差が見られるので、あいさつ運動を要として気持ちのよいあいさつができる子どもの育成を目指していきたい。礼儀の励行については、学級だけでなく、学校行事や集会の時間を活用して、全体での指導も徹底していきたい。

人権教育

9 一人一人の生徒の尊重	10 友だちへの思いやり	11 学校の支援体制
学校は、一人一人の子どもを大切にしている指導や対応ができていると思いますか。	子どもは、友だちとなかよくできていると思いますか。	学校は、支援を必要とする子どもの教育について、共通理解を図りながら取り組んでいると思いますか。
0% 20% 40% 60% 80% 100%	0% 20% 40% 60% 80% 100%	0% 20% 40% 60% 80% 100%
保護者 児童 教職員	保護者 児童 教職員	保護者 教職員

【学校から】  
 ○保護者と教職員の4の評価がともに昨年度より約20%増え、児童の評価との差が小さくなった。これからも毎週水曜日の「生活人権朝会」の時間を有効に活用して、保護者と連携しながら組織として対応していきたい。また、あらゆる場面で人権教育を推進していき、実際の行動となって表れるようにしていきたい。

【学校から】  
 ○特別支援教育に対する保護者と教職員の認識の差は依然とある。今後もいろいろな機会を捉え、啓発や本校の取り組みなどを紹介していきたい。

生徒指導 教育相談

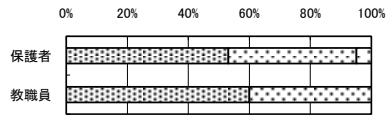
12 生徒理解	13 規範意識	14 いじめや問題への対応
先生方は、子どものよさを見つけ、子どもを理解しようとしていると思いますか。	子どもは、きまりやマナーを守っていると思いますか。	学校では、いじめや問題があったとき、すぐに話を聞いて対応していると思いますか。
0% 20% 40% 60% 80% 100%	0% 20% 40% 60% 80% 100%	0% 20% 40% 60% 80% 100%
保護者 児童 教職員	保護者 児童 教職員	保護者 児童 教職員

【学校から】  
 ○12の生徒指導と14のいじめや問題への対応に関しては、結果として本年度も数名の保護者が1の段階の回答であったことを、学校は重く受け止めなければならない。児童に対する共感的で温かい接し方、保護者への丁寧な説明と対応を再度徹底していく。規範意識については、昨年度とほぼ同じ結果だったが、児童と教職員の認識にずれが見られるので、具体的な場面で児童に指導するとともに、家庭と連携して、規範意識をもっと育成できるようにしていきたい。

## 健康教育 安全

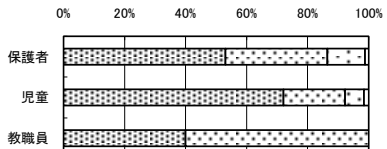
### 15 安全と事故防止

学校は、子どもの安全と事故防止に努めていると思いますか。



### 16 体力向上

子どもは、すすんで外遊びやスポーツをしていると思いますか。

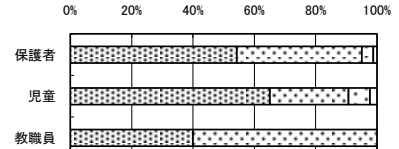


【学校から】  
 ○本年度は、11月に横断歩道を青信号で横断中の児童が、車にはねられるという事故があり、その後毎週金曜日を交通安全指導強化日と設定して指導にあたった。今後も安全教育を徹底したい。体力向上に関しては、来年度も木曜日の「朝の運動の日」や水曜日の60分間の昼休み等を活用して、体力向上を推進したい。

## 学校行事

### 17 学校行事への参加と工夫

学校では、運動会や学習発表会などの学校行事が工夫されていると思いますか。

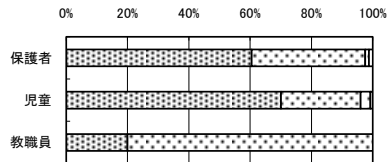


【学校から】  
 ○本年度の学校行事は、新型インフルエンザの影響もなく予定どおりに実施することができた。学校行事の内容については、前回の反省を生かして毎年改善していきたい。

## 学校環境

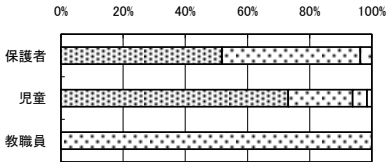
### 18 環境の整理・美化

学校では、校舎内外（花壇や掲示物など）がきちんと整理されていると思いますか。



### 19 施設・設備の安全管理

学校の施設・設備は、安全でよく整備・管理されていると思いますか。

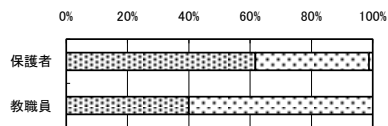


【学校から】  
 ○昨年度の学校版ISOコンクールで地区優秀校の表彰を受け、その取り組みも定着してきた。緑化栽培活動も昨年度より向上した。ただ、環境の整理・美化、施設・設備の安全管理の4の評価は、保護者、児童、教職員間では大きはずれが見られ、学校としては、まだまだ不十分であるという認識を持っている。施設設備については、本年度は、各教室の扇風機設置や飼育小屋の改修などがあつたが、今後も日常の安全点検と計画的な補修を進めていきたい。ボランティア活動では、JRC活動の一環として実践している6年生の朝の清掃ボランティアも来年度も他学年のボランティア活動とともに本校の伝統として継続していく予定である。

## 情報の公開・発信

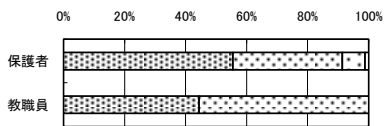
### 20 学校の予定等がわかる情報発信

学校からの文書等で、学校の情報が十分発信されていると思いますか。



### 21 教育活動への参加

学校が公開している教育活動（行事、授業等）は、保護者や地域の方が参加しやすいと思いますか。

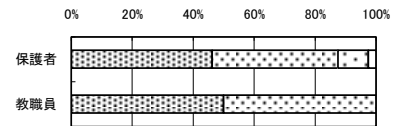


【学校から】  
 ○例年同様、学校便り（B4カラー両面印刷）や学級通信等で、保護者や地域の方への情報発信に努めてきた。また、昨年度から準備を進めてきたPTAが主体の「高橋小安心連絡メール」が本格的に始動したおかげで、保護者や教職員への迅速な情報発信もできるようになった。本校では、いろいろな教育活動への参加者もとても多いので、今後も日程や内容を工夫して早目に通知できるようにしたい。

## 家庭・地域との連携

### 22 家庭や地域との連携協力

学校は、家庭や地域と連携・協力しながら教育活動を進めていると思いますか。

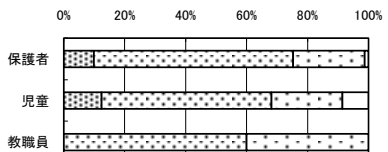


【学校から】  
 ○昨年度より保護者、教職員の評価がともに向上した。日頃からPTAや地域の方に積極的に支援していただきありがたい。今後も計画の段階からしっかりと連携して、教育活動を充実していきたい。

## （学校独自）

### 23 言葉づかい

子どもたちは、正しい言葉づかいができていますか。

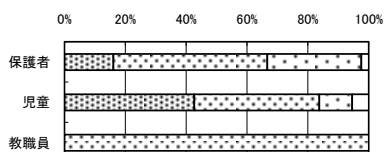


【学校から】  
 ○三者とも評価項目の中では一番低い結果だが、昨年度に比べると保護者と児童の評価はわずかに向上している。言語活動が重視される中、これからは言語環境の整備に粘り強く取り組んでいきたい。

## （学校独自）

### 24 家庭学習

子どもたちは、家庭学習の習慣が身に付いていると思いますか。

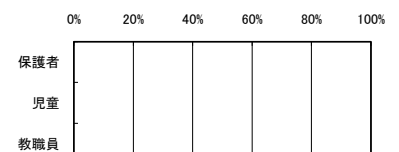


【学校から】  
 ○昨年度から評価項目に加えた。昨年2月に試行した「家庭学習定着週間」を各学期ごとに2回設定して、振り返りカードに記録を残していった。家庭学習に対する児童や保護者の意識も高まった。

## （学校独自）

### 25 0

0



【学校から】

## 来年度の具体的な取り組みについて

○4月からの新学習指導要領の完全実施に向けた教育活動の諸計画を点検しながら、校内研修を中心に授業改善、指導力向上を目指す。  
 ○学力向上を目指した普段の授業づくりとともに、学びの継続化を図るために家庭学習定着週間を来年度も学期ごとに2回設定する。児童には保護者の協力を得ながら、自分のためあてにそった「振り返りカード」に自分の家庭学習の様子を記録させ、家庭学習の習慣化を図るきっかけとしていく。そして、最終的には睡眠時間やテレビ視聴時間などと合わせて望ましい生活習慣の形成にも役立てていきたい。  
 ○児童理解を充実を図るために、毎週水曜日の生活人権朝会や日々の教育相談を有効に活用して、保護者との連絡を密に取り合って、喜んで登校する子どもが一人でも多くなるようにする。  
 ○安全で豊かな心を育成する教育環境の整備を進める。来年度は、校舎の外壁改修工事が始まる予定である。  
 ○運動会やどんとやなど学校とPTA・地域の諸団体が一体となって行う行事等が多い本校では、PTAや地域の諸団体との連携は不可欠である。これからもこれまでの伝統を大切にしながら、本校ならではの特色のある教育活動を展開し、学校目標である「郷土を愛し、知・徳・体の調和のとれた子ども育成」を目指していく。

## 学校関係者評価

○教育方針・目標に関しては、キャッチコピー「寄り添って、たくさんほめて、しっかり叱る」「しっかり聴いて、じっくり考え、自分で決める」「たかほしみそあじ運動」などの工夫があり、年を重ねるごとに理解が浸透していると思います。  
 ○カラー印刷の「学校便り」（B4版両面印刷）は、写真もたくさん掲載されていて、とても見やすいです。学校や校区での出来事や児童のがんばりがよく分かり、毎回読むのが楽しみです。作業は大変かと思いますが、これからは是非続けて欲しいです。  
 ○本年度は11月に交通事故があつたので、これからは交通事故や大きなけがが起こらないように、気を緩めることなく取り組んでください。地域でもこれからはできるかぎり協力していきたいです。  
 ○本年度の行事は、新型インフルエンザの影響もなく、ほぼ予定通り実施できてよかったと思います。これからは内容を工夫しながら継続して欲しいです。  
 ○先生方が毎日の授業だけでなく、部活動やその他の教育活動にも熱心に取り組んでいただきとてもありがたいです。  
 ○学校独自の評価に、「言葉づかい」と「家庭学習」の項目があるのはいと思います。これからは学校と家庭が連携して子どもの成長を見守って欲しいです。  
 ○保護者の中には、厳しい評価をされた方もおられますが、それを謙虚に受け止めて、これからは一人一人を大切に高橋小の教育を校長先生を中心として自信をもってがんばっていただきたいと思います。